



令和 5 年 4 月 6 日  
北九州市上下水道局

## 第 25 回 日本水大賞『大賞』受賞

- 日本水大賞委員会と国土交通省が主催する第 25 回日本水大賞にて、北九州市上下水道局の 30 年以上にわたる国際協力の活動が認められ**大賞を受賞**しました。
- 自治体が海外で実施した取り組みでの大賞受賞は初**となります。

### 1 日本水大賞とは

水循環系の健全化を目指し、美しい水が紡ぎだす自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的としています。1998 年から実施されており、国内で水環境問題に取り組む個人や NGO/NPO、学校や企業などに贈られます。同委員会は秋篠宮皇嗣殿下を名誉総裁に、各界の有識者で組織されています。

### 2 受賞概要

(1) 賞の名称：大賞

(2) 活動名称：世界に広がる北九州市の水に関する技術



地方での水汲み労働の様子



水道が開設されて喜ぶ子どもたち



ウェブサイト QR コード

(問合せ先)

北九州市上下水道局海外事業課  
担当：江口(えぐち)、笹田(ささだ)  
TEL 093-582-3111  
FAX 093-582-2088

日本水大賞委員会同時発表

令和 5 年 3 月 31 日  
水管理・国土保全局河川計画課

## 第 25 回日本水大賞の各賞を決定 ～水循環の健全化に貢献する様々な活動から特に優れたものを表彰～

日本水大賞委員会（名誉総裁：秋篠宮皇嗣殿下）は、第 25 回日本水大賞の応募総数 96 件の中から「大賞」の受賞者を北九州市上下水道局（福岡県）に、「国土交通大臣賞」の受賞者を久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会 防災部会（京都府）に決定しました。

### 【日本水大賞】

活動主体：  
北九州市上下水道局（福岡県）

活動名称：  
世界に広がる北九州市の水に関する技術



地方での水汲み労働の様子



水道が開設されて喜ぶ子どもたち

### 【国土交通大臣賞】

活動主体：  
久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会 防災部会（京都府）

活動名称：  
水害からの確実な避難を目指して～3つの地域が手を取りあって誰もが主役の流域治水の取り組み～



出水期前のまち歩きで地域の危険箇所を確認



水害体験施設を使用した避難訓練

活動内容：  
カンボジアのプノンペンでの水道人材育成プロジェクトでは、職員を専門家として派遣し、アジアで数少ない「飲める水道水」を実現した。その後も継続的な支援を行い、地方都市の水道事業の改善につなげている。

活動内容：  
実際にまち歩きを行い作成した防災マップを使った避難訓練や水害体験施設を使用した避難訓練などを実施し、水防に対する意識を向上させて「自助」「共助」が活かされる地域づくりを推進している。

### 【表彰式及び受賞活動発表会】

日時・場所：令和 5 年 6 月 13 日（火）／日本科学未来館（東京都江東区）

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、スケジュール等に変更が生じる可能性があります。

### 【日本水大賞とは】

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本と地球を目指し、水循環の健全化に資する水防災、水資源、水環境等の分野における様々な活動を対象に、社会的貢献度が高い、特に優れたものを表彰し、広く国民に発信することを目的として、平成 10 年に創設されました。

【問合せ先】国土交通省水管理・国土保全局河川計画課

課長補佐 浅田<sup>あさだ</sup>、課長補佐 米沢<sup>よねざわ</sup>、河川情報係長 吾郷<sup>あごう</sup>

電話：03-5253-8111（内 35322, 35375, 35395）、直通 03-5253-8446

令和5年4月6日  
上下水道局海外事業課

## 第25回日本水大賞受賞について

### 1 概要

北九州市上下水道局が長年継続している国際協力活動を広く知ってもらうべく、JICA九州所長の推薦を得て、第25回日本水大賞に応募したところ大賞を受賞した。自治体が海外で実施した取組みでの大賞受賞は初であるとともに、大賞の受賞は市内で初となる。

#### (1) 日本水大賞とは

水循環系の健全化を目指し、美しい水が紡ぎだす自然の豊かさの中にも水災害に対して強靱な国土と社会の実現に寄与することを目的としている。1998年から実施されており、国内で水環境問題に取り組む個人やNGO/NPO、学校や企業などに贈られる。対象となる活動分野は広く、水防災、水資源、水環境、水文化、地域復興など水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動である。

#### (2) 主催・内容

##### 主 催

日本水大賞委員会・国土交通省

名誉総裁：秋篠宮皇嗣殿下

委員長：毛利 衛（日本科学未来館 名誉館長）

##### 内 容

①大賞、②大臣賞(国土交通省、環境省、厚生労働省、農林水産省、文部科学省、経済産業省)、③市民活動賞(読売新聞社賞)、④国際貢献賞、⑤未来開拓賞、⑥審査部会特別賞

## 2 提案概要

北九州市上下水道局は 30 年以上にわたる専門家派遣や研修生の受入れといった技術協力により、発展途上国の上下水道関係者のインフラ構築・運用能力の向上に努めてきた。特にカンボジアの首都プノンペンでは、国際技術協力の結果、水道の品質が劇的に向上し、東南アジアでは珍しい「飲める水道水」を達成した。この成功は世界の水道関係者から「プノンペンの奇跡」と称賛されている。また、国際技術協力による水道人材育成だけにとどまらず、北九州市独自の高度浄水処理技術(U-BCF：上向流式生物接触ろ過)の展開や、海外事業の成果を広く情報発信している。

今後も国際技術協力による技術者育成を行い、世界の水環境改善に貢献する。国際技術協力により緊密な人的ネットワークを築いているカンボジア、ベトナム、インドネシアなどを対象に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会(KOWBA)」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。

## 3 表彰式

日にち：2023 年 6 月 13 日(火)

場 所：日本科学未来館